



次回のこの欄に登場するのは、あなたかも？  
身近なニュース、まちの話題などをお知らせください  
☎情報政策課広報係 ☎22-1411 (内線431)

### 「いろいろな楽しみ方がある土曜日が好き」

2月22日の午後、八坂町にある市立ふれあいの館で、「手品を楽しもう」という催しがあると聞いて、出かけました。ふれあいの館には、友達とドッチボールをしに行くこともありますが、この日は子どもと大人を合わせて60人ぐらゐが集まっています。

「手品を楽しもう」では、彦根市レクリエーション協会会長の岩松清さんが、たくさんの手品や手遊び、簡単な工作を教えてくださいました。ハンカチの中から500円玉が出てきたり、ほどけそうもない結び目があるつと解けたりして、おもしろく見られました。服の両方のそでにひもを通して、洗濯物みたいにつるした後、ひもはそのままの



▲「楽しく描いている様子が見えるようです」と来場者



◀ 細居さん(左)と七帆ちゃん

### 「手作り紙芝居―世界に一つしかない、大切な宝物」

細居昌美さん(平田町)

平田幼稚園に通う私の娘が作った紙芝居が、市立図書館に展示されました。

今年から始まった平田幼稚園の「親子のほっとホットタイム」は、保育時間の終わった後で、週に1回親子でいるんなことに取り組む時間です。手話やリズム体操など、楽しくするためのテーマが多く、たくさん親子が参加しています。10月から12月は、月に1回ずつみんなが絵本や紙芝居を作りました。

娘の七帆は工作が大好きです。段ボール箱をはさみで切つてセロテープではり付け、マジックで絵を描いて、いろんなものを作ります。紙芝居作りにも関心を持って、進んでいるんな絵を描いてくれました。

歯みがきしているところ、ごはんを食べているところ、お風呂に入っているところ、遊んでいるところなど、生活の場面を描いた絵がたくさんできたので、起きてから寝るまでの順に並べ、「ほそいなほのいちにち」とタイトルを付けました。幼稚園の先生やいろんな人に見てもらえて、本人もうれしかったようです。ほかの子どもたちも、好きな線路をお母さんにたくさん描いてもらったり、テレビのキャラクターを描いたりして、それぞれ自分だけの絵本や紙芝居ができました。図書館に展示されて、たくさんの方が見てくださったようです。みんなにとって大切な宝物が、一つずつ増えたのではないのでしょうか。

城陽小学校6年 西村圭希さん

に服だけ下に落ちたときはびっくりしました。去年の4月から、毎週土曜日も学校が休みになりました。月に1回、学校が開放される土曜日があるので、そのときは学校のパソコンでインターネットを使って調べものをしたりしています。さらに、ウィークエンドクラブというPTA主催の行事もあります。野鳥の観察会やヨットで行った多景島探検など、いろいろと思いで出に残っています。土曜日が休みになって、楽しみ方が増えて良かったと思います。

「手品を楽しもう」に出演された岩松清さんは、2月25日お亡くなりになりました。謹んでごめい福をお祈りします。  
(情報政策課広報係)

▼(左から)古川翼さん、疋田真五さん、西村圭希さん、鹿谷高弘さん、西村拓弥さん



▼次に何が起るのかと、興味津々で見守る子どもたち



市立図書館での「手作り絵本の展示」は、好評をいただき、3月20日(木)まで展示期間を延長しています。